たきかわ 市議会だより

うまく滑れるかな／北電公園での一こま

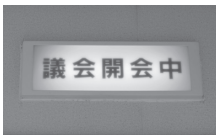
小学１年生を対象とした初心者向けのスキー教室。
はじめてスキーを滑る子もいて、
転んだり、尻もちをついたりと悪戦苦闘。
最初のうち真剣そのものだった表情にもやがて笑みが。
早く楽しく滑れるようになるといいね。

●目　次●

第４回定例会　主な議案のあらまし	2
議決結果	3
一般質問から	4～10
新型コロナウイルス感染症対策	
議会からの報告	11
議長コラム・議会日誌・編集後記	12

2021.2.1
No.36

発行：滝川市議会　編集：たきかわ市議会だより編集委員会　〒073-8686　滝川市大町１丁目２番15号　TEL.0125-28-8048　FAX.0125-23-5329



第4回定例会
主な議案のあらまし

令和2年第4回定例会は、12月4日から12月11日までの8日間の日程で開催しました。

本定例会では、市政全般について12人の議員が一般質問を行ったほか、令和2年度補正予算、条例改正などの議案等17件を審議しました。

◎令和2年度補正予算

一般会計では、補正予算（第11号）で、9、562万9千円を増額補正し、総額281億1、530万5千円となりました。

補正予算に計上された主な事業費は、公定価格の改定および保育所の入所児童数の増加に伴う花月保育所、一の坂保育所、江部乙保育所および二の坂保育所の運営費委託料の増額のための経費3、787万5千円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を受けて行う、市内小中学校および滝川西高等学校における感染症対策および児童生徒の学びの保障のための消耗品および備品などを購入するための経費1、694万9千円、滝川西高等学校におけるGIGAスクール構想の実施に向けた校内ネットワーク環境整備および新型コロナウイルス感染症予防対策として遠隔授業などに使用するタブレット端末を購入するための経費959万円などです。

また、介護保険特別会計補正予算（第3号）では、保険事業勘定で、制度改正に伴うシステム改修のため259万6千円、後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）では、税制改正における個人所得課税の見直しに伴う医療システム改修のため23万8千円を、それぞれ増額補正しました。

◎条例の改正

滝川市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例、滝川市税条例の一部を改正する条例、滝川ふれ愛の里条例を廃止する条例など6件の条例を改正・廃止しました。

◎人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴うもので、窪之内美知代さんを推薦しました。

◎意見書の送付

コロナ禍による地域経済対策を求める要望意見書、不妊治療への保険適用の拡大を求める要望意見書、2021年度介護報酬改定における大幅増額、コロナ支援を求める要望意見書の3件を可決し、関係機関に送付しました。

◎その他の議案等

そのほか、不動産の無償貸付け、市道路線の認定及び廃止について、例月現金出納検査報告についてなど4件の議案等を可決、報告済としました。

臨時会の開催

第5回臨時会

令和2年第5回臨時会を10月13日に開催し、令和2年度一般会計補正予算（第9号）など2件の議案等を可決、報告済としました。

一般会計補正予算（第9号）では、ふるさと納税による寄付金額の増額見込みに伴う返礼品などの費用の支出ならびにふるさと基金積立金の経費および国産農畜産物の供給力拡大に取り組む地域の担い手に対して、国産農畜物供給力強靭化対策補助金交付のため、6億1、048万円を増額補正し、総額280億2、880万4千円となりました。

第6回臨時会

令和2年第6回臨時会を11月27日に開催し、令和2年人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じた一般職の職員の給与を改定するための条例と、給与改定のための減額補正の一般会計補正予算（第10号）、給与改定に関連する特別会計と事業会計6件の補正予算案を可決しました。

また、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金に係る事業実施のための補正、車両損傷事故に伴う損害賠償額の決定2件の3件を報告承認および報告済としました。

令和２年第４回定例会議決結果

●令和２年度補正予算

◎	令和２年度滝川市一般会計補正予算（第11号）
◎	令和２年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第３号）
◎	令和２年度滝川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）

●条例

◎	滝川市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例
◎	滝川市税条例の一部を改正する条例
◎	滝川市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例
◎	税外収入金の徴収等に関する条例等の一部を改正する条例
◎	滝川ふれ愛の里条例を廃止する条例
◎	滝川市都市公園条例の一部を改正する条例

●その他

◎	不動産の無償貸付けについて
◎	市道路線の認定及び廃止について
★	監査報告について
★	例月現金出納検査報告について
□	人権擁護委員候補者の推薦について（窪之内美知代）

●意見書

◎	コロナ禍による地域経済対策を求める要望意見書
◎	不妊治療への保険適用の拡大を求める要望意見書
◎	2021年度介護報酬改定における大幅増額、コロナ支援を求める要望意見書

令和２年第５回臨時会議決結果

●令和２年度補正予算

◎	令和２年度滝川市一般会計補正予算（第９号）

●その他

★	専決処分について（損害賠償額の決定）

令和２年第６回臨時会議決結果

●令和２年度補正予算

◎	令和２年度滝川市一般会計補正予算（第10号）
◎	令和２年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）
◎	令和２年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算（第１号）
◎	令和２年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第２号）
◎	令和２年度滝川市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）
◎	令和２年度滝川市下水道事業会計補正予算（第１号）
◎	令和２年度滝川市病院事業会計補正予算（第５号）

●条例

◎	一般職の職員の給与に関する条例及び滝川市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

●その他

☆	専決処分について（令和２年度滝川市病院事業会計補正予算（第４号））
★	専決処分について（損害賠償額の決定）
★	専決処分について（損害賠償額の決定）

◎全会一致可決　★報告済
□全会一致推薦　☆報告承認

本会議の様子や一般質問の詳細はインターネットでご覧いただけます。

一般質問　皆さんの声を議会へ

一般質問は、個々の議員が本会議で行う質問のことです。市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関から報告・説明などを求めます。住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議での議員一人当たりの質問時間は30分です。今議会では２日間行われ、12名の議員が質問しました。

質問者	質問の要旨
柴田　文男（会派清新）	コロナ禍における市民生活支援について　今後の学校教育施設の在り方について　指定管理施設のキャンセルの扱いについて
寄谷　猛男（日本共産党）	教育職員の長時間勤務の改善について　たきかわ観光国際スクエアの取り組みについて　観光資源を守る取り組みについて　子育て応援、家事代行事業について
東元　勝己（会派清新）	避難所の運営について　公用車両損傷事故の防止対策について
安樂　良幸（新政会）	合同墓の設置について　防災試験放送の実施について
水口　典一（会派清新）	次期滝川市総合計画について　老朽化した学校施設改築の中長期的展望について　ひきこもりの実態と対策について
三上　裕久（公明党）	市立病院発熱外来の運用状況について　インフルエンザ予防ワクチン確保の現状について　コロナ禍における障がい者雇用について　ほか
木下八重子（会派みどり）	子育てしやすい環境づくりについて
山本　正信（会派みどり）	市内におけるインターネット環境の整備状況について　テレワークの推進と受け入れ住環境の整備について
田村　　勇（新政会）	コロナ禍の各種対策について　モンスターウルフの効果について　認知症行方不明高齢者の把握と対策について　不良空き家除去補助金制度について　ほか
佐々木和代（新政会）	母子手帳アプリの導入について　高齢者施設における新型コロナウイルス感染時の対応について
堀　　重雄（公明党）	コミュニティ施設の運営について　出産支援について　乗り合いタクシーについて　新築住宅助成について　市立病院における新型コロナウイルス感染症対策について
渡邊　龍之（会派みどり）	市政運営について　市税について　障がい者の雇用について　市立病院経営改善計画について

※次ページ以降、主な質問について掲載しています。

会派清新
柴田 文男

今後の学校教育施設の在り方について

質問　コロナ禍の中で教育現場では、さまざまな対応に追われている。既存の校舎などにおいては、「3密」を防ぐにも限界があり、今後の学校運営や学校施設の在り方を早期に検討する必要がある。少人数学級の拡大や教職員の加配などを優先しつつ、どういった道筋で検討を進めていくのか伺う。

答弁　学校における感染症対策は、文部科学省から発出された管理マニュアルに基づき「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」などの衛生管理を徹底しています。

今後の学校教育施設の在り方については、現在、国においてポストコロナ時代の新しい学びの在り方や少人数による指導体制などについて議論が進められています。

将来的には少人数学級を視野に入れた施設整備を検討する必要性も踏まえ、北海道教育委員会や市長部局とも連携し、教育環境の充実に取り組んでいきます。

指定管理施設のキャンセルの取り扱いについて

質問　市の指定管理施設においてコロナ感染拡大の影響が顕著となっている。各種団体などの開催予定イベントが次々にキャンセルされ、文化センター等事前予約を伴うものは申込金が返礼されない事例があるという。

市として、感染状況の拡大等に配慮しながら、指定管理者側と協議すべきと思うが、考えを伺う。

答弁　文化センターの利用料金の取り扱いについては、条例の規定により予約をキャンセルした場合は、特別の事情がない限り前納金の払い戻しはありません。

しかしながら、ご指摘のとおり感染拡大が収束しない中、イベント主催者が感染防止の観点から自主的に予約キャンセルを申し出るケースが増加してきています。コロナ禍の運用について、密回避の観点から運営経費を負担する指定管理者とも改めて協議し、混乱のないよう対応していきます。

日本共産党
寄谷 猛男

教員の負担軽減、長時間勤務の改善について

質問　教員の時間外勤務状況によれば、教員の3割以上が1か月に45時間を超える時間外勤務を行う月もある。教員の負担軽減、長時間勤務の抜本的改善に向けた市の取り組みを伺う。

答弁　教育委員会としては、学校における働き方改革教育職員業務改善推進プランで示した内容について引き続き取り組むほか、少人数学級の拡大や教員の加配などについても国や北海道の加配定数などを効果的に活用しながら教員が子どもと向き合う時間を確保することにより指導の充実を図ります。

また、教員定数の一層の改善などについても全国都市教育長協議会、北海道都市教育長会などの場を通じて、今後も国や北海道に対して強く要望していきます。

質問　時間外勤務の軽減策として学校閉庁日を設けている。しかし、学校が閉庁しても教員の業務が減らなければ、持ち帰り業務時間は減らないと思うが、見解を伺う。

答弁　教員の業務の持ち帰りは、これまで多く見られましたが、なるべく少なくなるよう日常の業務を見直すなど各学校で引き続き取り組んでいきます。

子育て応援、家事代行事業について

質問　核家族化や地域でのつながりが希薄化する中、母親の家事や育児を手助けする訪問型の子育て支援事業が注目されている。市の取り組みについて伺う。

答弁　市ではファミリーサポートセンター事業に取り組んでいますが、あくまでも子どもの対応を目的としています。

また、依頼の件数に対して提供していただく会員の人数が少ないこと、会員として参加するにあたり研修を受けること、それから現状コロナ禍ということもあり、感染防止対策が万全に取れるのかというさまざまな課題があります。

他の自治体での先進事例などについて勉強しながら、どのような対応ができるか検討していきたいと考えています。

会派清新
東元勝己

避難所の運営について

質問　避難所における女性専用スペースの設置について伺う。

答弁　新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環として、ほとんどの避難所においてワンタッチ式パーティションを導入して避難スペースの個室化を図り、できるだけ避難者同士の接触を抑止し、感染を防止したいと考えています。同時にパーティションの導入で、周囲からの視線が完全に遮断された中で避難者の皆さんには落ち着いた滞在環境を提供できるものと考えており、互いの目を気にすることなく着替えや就寝などができるといったメリットもあります。

　個室化された避難所内では避難者同士の接触はほとんどないものと考えていますが、自分に割り当てられた以外のパーティションへの訪問を禁止するなどのルールを徹底するほか、希望者には防犯ブザーの貸し出しなどを行うことで避難者の精神的・身体的被害が発生することがないよう対策を講じていきたいと考えています。

　そうした避難所の想定の中で、さらに女性専用スペースを設けることは、かえって女性が滞在する場所であることを明らかにしてしまうことにもなりかねず、その可否も含め検討を要するものと考えています。

公用車損傷事故の防止対策について

質問　毎年公用車両の損傷事故が発生しているが、事故防止のための具体策を伺う。

答弁　日頃より全職員に対し常に安全運転を心がけるよう注意喚起を行っているほか、外部講師を招いた安全運転講習会を毎年開催しています。また、今年2月にすべての公用車にドライブレコーダーを設置したことにより、事故件数もここ数年の平均値を下回っています。加えて、ドライブレコーダーに記録された実際の事故映像を分析して講習会での教材として活用するなど、再発防止策につなげていきたいと考えています。

新政会
安樂良幸

後世に受け継ぐ合同墓の設置について

質問　令和2年第3回定例会において、合同墓の早期設置について質問した際、次年度に設置する方向性で検討する旨の答弁を受けた。設置にあたっては、収蔵（納骨）者の心情や、本市の人口規模を踏まえ、すでに設置が終わっている他自治体の状況を参考にして、格調高くかつ収蔵可能数の多い、後世に受け継ぐような合同墓を設置すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答弁　合同墓のイメージについては、市民の皆さんに後世まで受け入れられる滝川市の合同墓として、認識されるものとします。お墓らしさを基本に、埋蔵する遺族への心情に配慮し、厳かで格調高さを兼ね備えた墓碑と周辺との調和に着意し、本市の人口を勘案した収蔵数を確保できる施設となるよう検討を進めます。

質問　受付や料金設定、収蔵要領など、市民に対し、どのような手段で周知するのかを伺う。

答弁　令和3年4月以降の適切な時期に、広報たきかわや市公式ホームページに掲載するほか、パンフレットを作成するなど、可能な限りの対応を検討しています。

防災試験放送の実施について

質問　令和2年9月1日に㈱エフエムなかそらちの協力を得て、本市における災害発生時の予備指揮所である滝川消防庁舎から20ワット出力で試験放送を実施した。災害発生時は電波伝搬の安定度や強度が異なる50ワット出力での放送が可能と聞いているが、なぜ、災害発生時を想定した50ワット出力で実施しなかったのかを伺う。

答弁　災害時には電波法に規定される臨時災害放送局の免許を受けて出力を50ワットに上げての放送を想定しています。

　今回は総務省から関係規定に照らして平時に臨時災害放送局の免許は認められないとの見解が示されました。

　今後、総務省には実用性などの検証確認の必要性等を重ねて説明し、平時での試験放送の実現に向け取り組んでいきます。

会派清新
水口 典一

次期滝川市総合計画について

質問　現総合計画は令和3年度までだが、未曾有のコロナ禍において、次期総合計画策定の有無と基本構想の柱となる施策として、どのような検討がされているか伺う。

答弁　市が進むべき方向性を示す市民向けのマニフェストとして、策定は引き続き必要と考えています。現在、次期総合計画策定に向け、現総合計画のフォローアップ作業を進めており、施策の方向性や将来的な課題を整理したうえで、庁内に策定本部を設置し、基本構想案を年度内に策定する予定です。

4月以降、市民や議員にも諮りながら基本計画をまとめ、令和4年3月に総合計画を策定するスケジュールとなっています。

老朽化した学校施設改築の中長期的展望について

質問　老朽化が著しい学校施設について、人口動態なども踏まえつつ、財政的視点から年次の見通しを立て改築を計画することが重要と考えるが、見解を伺う。

答弁　令和2年度から第2期財政健全化計画を推進中ですが、新型コロナウイルス感染拡大により、市はもとより市立病院の経営も大きな影響を受けている状況です。公共施設をはじめ学校施設の老朽化問題は顕著になってきており、財政状況から実施が可能と判断できる時期には集約化・複合化などの視点も取り入れ、検討を続けていきます。

質問　建築後60年を超える学校施設もあり、他の公共施設と比較しても希少な建築物となっている。将来を担う子どもたちに夢と希望を与えるためにも、適正配置計画と一体となった改築の取り組みが必要と考えるが、見解を伺う。

答弁　コロナ禍において、来年度の予算設計も見えない中で、新たな財源をどのように確保するかは大きな課題であります。市単独での学校改築は難しいので、施設の老朽化に対する助成など、国・北海道にお願いをしながら、最大限の努力をしていきます。

公明党
三上 裕久

コロナ対策として設置された発熱外来の運用状況について

質問　新型コロナウイルス感染症による発熱者とかぜ症状の発熱者を見分けるため、市立病院に設置された発熱外来の運用状況について伺う。

答弁　従来対応してきた救急外来診察室に加え、プレハブの簡易診察室を整備して対応に当たっていますが、発熱患者数は11月に入り増加傾向にあり、発熱者などを空間分離して対応している患者数は、多い日で20人程度となっています。今以上に発熱患者数が増えると、通常の外来診療を減らすなどの対応をしなければならないため、発熱やかぜ症状のある方は電話相談のうえ、予約をしてから来院されますようお願いします。

インフルエンザ予防ワクチンの確保状況について

質問　滝川市全体として、インフルエンザ予防ワクチンが不足していると思うが、現状について伺う。

答弁　インフルエンザワクチンの供給については、国において過去5年間で最大量の3、178万本、約6、300万人分のワクチンを供給していますが、全国的な需要の増加などから十分な供給が行き届かず、在庫が不足しています。引き続きワクチンの供給状況について情報収集に努めていきます。

コロナ禍における障がい者雇用の現状について

質問　コロナ感染の拡大で、市内雇用の状況が心配される。障がい者の雇用状況の実態について伺う。

答弁　本市においては、現時点では、コロナ禍を原因として障がい者の方が休職や解雇などによりお困りになったとの相談や具体的な影響は聞いておりません。しかし、今後、予断を許さない状況にあることと認識しています。お困りになった際には、障がい年金の活用や就労継続支援といった福祉サービスの利用など個別具体的にその方に寄り添った必要な相談・支援を行っていきます。

会派みどり
木下八重子

子育てしやすい環境づくりについて

質問　就学前児童を有する親から1年中通して就学前児童たちが遊べる施設が欲しいという声を聞く。

　市内の各公園などには遊具などが設置されているが、冬期間は雪のために使用ができない。そこで1年間通して使用できる室内の遊び場を確保することが必要だと思うが、公共や民間施設の空きスペースを活用したり、新施設を建設するなどの考えについて伺う。

答弁　子どもが通年で遊べる施設については、第2期滝川市子ども・子育て支援事業計画の策定に先立つアンケート調査において、多くの声が寄せられたこともあり、「冬期間や雨天時にも安心して遊べる屋内遊園施設の設置を検討する」と計画にも記載しています。

　具体的には、公共の空きスペース活用なども含め、個別施設計画の策定会議において検討・協議するなどした経過はありますが、同計画は方向性を定めるための調整に時間を要し、具体的な検討は遅れているため、子どもの遊び場についても、不確定な状況となっています。

　ご要望については認識していますが、コロナ禍の厳しい財政状況の中、公共施設は将来負担の圧縮を図る必要がありますので、将来的な市全体の公共施設の在り方を検討・協議する中で、新たな遊び場の設置について引き続き市民ニーズの把握に努め、可能性を探っていきたいと考えています。

質問　現在、冬期間使用可能な施設は何か所あるか。

答弁　花月地区児童センターや花月地区子育て支援センター、一の坂地区子育て支援センターなどは、冬期間でも子どもたちにご利用いただいています。

会派みどり
山本正信

市内におけるインターネット環境の整備状況について

質問　コロナ禍において、テレワークやＷｅｂ会議にはインターネット環境の整備が欠かせないが、市内の現状について伺う。また、近隣市町では、コロナ対策予算により光回線を農村部まで整備したとの話も聞くが、本市としての可能性について併せて伺う。

答弁　市内の光回線は平成15年度に流通団地で提供が開始されてからエリア拡大が進み、現在5か所の回線収容局および子局すべてにおいて光回線対応になっています。しかし、回線事業者としてはＡＤＳＬの提供が終了することから、エリア拡大について具体的な計画までは整理されていないとのことです。

　新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した整備については、総事業費が5億6、０００万円、市負担分が1億6、０００万円となることから、今回は市民生活を守るための事業を優先して取り組みました。モバイル通信による回線も高速化や提供エリアの拡大が進んでおりますので、今後もさまざまな可能性を含めどのような方法があるか勉強していきます。

テレワークの推進と受け入れ住環境の整備について

質問　コロナ禍でのテレワーク推進と住環境の整備について、当市として都市部から地方への移住推進対策の取り組みについて伺う。

答弁　移住推進のため、民間事業者と提携して「住まいネットワーク」を市公式ホームページに掲載し、移住希望のある方に活用していただいています。

　これまで各種移住対策を実施してきましたが、結果として移住に結び付けるのは難しいと認識しています。しかし、コロナ禍の今、地方への関心が高まっており、地方に居ながら仕事ができるテレワークの普及は、今後の移住施策を進めるうえで重要な要素であり、関係人口の創出・拡大とあわせて検討していきます。

新政会
田村　勇

コロナ禍の各種対策について

質問　本市でもクラスターが発生しているが、市独自の感染対策は何を基準にしているのか伺う。

答弁　新型コロナウイルス感染症の対策については、法律や国と都道府県が定める基本的対処方針において、国、都道府県、市町村が果たすべきそれぞれの役割が定められています。

　市町村の役割としては、国および都道府県の要請に応じて適宜協力することや、住民や事業者へ適切な方法により情報を提供すること、さまざまな手段により地域の感染状況に応じたメッセージや注意喚起を行うことなどとされており、市として感染対策に関する独自の基準などは持っていません。

質問　市立病院では医療現場の負担も相当増えていると思うが、対策指導はどうしているのか伺う。

答弁　北海道からは感染症指定病院の後方支援として一定の役割を与えられており、新型コロナウイルス感染症に対応した病床の確保や発熱者の外来対応、検体採取や検査など、自治体病院としての責務を日々担っています。

質問　コロナ禍による倒産、廃業、閉店などの実態を伺う。

答弁　市内建設業種1社の破産申請を把握しているほか、原因のすべてがコロナによるものかは特定できませんが、飲食業種複数店の閉店を把握しています。

不良空き家除去補助制度について

質問　国の空き家再生等推進事業を活用して、不良空き家の解体費用を補助することが必要と思うが、見解を伺う。

答弁　空き家再生等推進事業については、不良住宅が集合することなどにより生活環境の整備が遅れている地区において、居住環境の整備改善または災害の防止のために、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅の集団的建設などを目的としていますので、空き家の解体を目的としての事業採択は難しいと考えています。

　なお、本市独自の補助制度創設は考えていません。

新政会
佐々木和代

母子手帳アプリの導入について

質問　コロナ禍の中、感染を恐れて子育て支援制度の利用機会が減少するなど、自治体と子育て世帯を取り巻く環境は大きく変化している。本市では感染症対策のため、マタニティクラスと赤ちゃん教室の回数を減らして対応している。

　母子手帳アプリなどを使用することでビデオ通話など顔の見える相談支援ができ、各健診の案内、育児情報の発信ができるアプリの導入は非常時にも役立ち、妊娠から出産、子育てする女性にはとても安心できる支援で、子育てしやすいまちづくりにつながると思うが、市の見解を伺う。

答弁　育児不安に対しては、電話による相談を増やしたり、個別訪問や面談を実施するなど対応に努めています。しかし、新たなツールの必要性も感じており、アプリなどの情報収集も行っていますが、ランニングコストの面や、個人がそれぞれ好みのアプリを利用していることなどから現段階では特定のアプリを導入せず、ラインなどを活用してきました。リモートによる相談、教育活動の実施についても勉強し、感染の不安なく相談を受けられる工夫と相談支援の充実に努めていきます。

高齢者施設における新型コロナウイルス感染時の対応について

質問　高齢者施設において感染者が出ると入院させてもらえず、施設での対応となるため、大きなクラスターに発展するのがこれまでの傾向である。入院調整は保健所の役割とされている中で、市独自の支援を考えているのか伺う。

答弁　医療体制の確保やクラスター対策は、市が単独で行うものではありませんので、保健所との連携のもと、可能な限りの協力を行っていきます。

質問　今は平時ではなく非常時だが、それでも市独自の支援は考えてはいないということか伺う。

答弁　北海道としっかり連携しながら、必要な対策を講じていきます。

公明党
堀　重雄

出産支援について

質問　市民相談の中でおむつ代の負担が厳しいとの声を聞くが、本市の取り組みを伺う。

答弁　本市として補助はしていませんが、市内企業が紙おむつやミルク、お尻ふき、綿棒などをセットした出産祝いプレゼントを提供しています。また、ほかにも民間が行う、お尻ふきやおむつのセットを配付していただける事業もあるようですので、積極的に活用したいと考えています。

乗り合いタクシーについて

質問　およそ10年前に江部乙地区でモニタリングが行われ、利用者が少なく見送りになった。その後高齢化も進み、再度試みるべきと思うが、見解を伺う。

答弁　現在、バスの利用実態調査を実施し、乗降地や利用回数などを聞き取りしています。その結果を見据えて、必要性について検討していきたいと考えています。

新築住宅助成について

質問　助成事業の再開について、市民の要望が多くある。せめて子育て中の若い世代への支援を検討するべきと考えるが、見解を伺う。

答弁　将来にわたり持続可能な財政運営を行っていくため、新築住宅助成事業を一旦休止しました。

　コロナ禍において、国から地方への支援体制も変化してきています。今後は定住促進に向けてどのような支援策を展開出来るか、有効な財源の見極めも含めて検討していきます。

市立病院のコロナ対策について

質問　コロナウイルスは衣服にも付着するとのことだが、感染防止対策として、エアーシャワーを設置してはどうか。見解を伺う。

答弁　現状では、エアーシャワーによるウイルス除去に対して大きな効果が得られる製品は開発に至っていないようです。また、空気中に漂ったウイルスの動きによっては、逆にリスクを招くことも懸念されるところです。

会派みどり
渡邊 龍之

市政運営について

質問　市の課題解決に向けては、優先度をつけ集中的に取り組む必要があると考えるが、見解を伺う。

答弁　今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、中には中止・延期せざるを得ない事業もあったほか、市民生活を守る観点から感染防止対策や地域経済の回復に向けた各種事業を実施してきました。ご指摘のとおり、取り組むべき課題の優先順位を判断しながら、事業の選択と集中という観点で実施していきます。

市税について

質問　市税の猶予について、納期限から最長1年間猶予される場合の影響について伺う。

答弁　徴収猶予については、以前から制度はありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から収入が減少するなど納税が困難となった方に対し条件を緩和したので、令和3年2月1日までに納期限が到来する税目、期別などと猶予期間を含めて申請する制度です。納付が困難な場合には、担税力に合わせた納税計画を立てるなど、納税者の資力の状況などを考慮した納税折衝を行っていきます。

市立病院経営改善計画について

質問　計画では、令和5年度の単年度黒字化を重点として掲げている。しかし、新型コロナウイルス感染症により収入不足が危惧される中で黒字化の行程に支障があると考えるが、次年度に向けての取り組みについて伺う。

答弁　新型コロナウイルス感染症の影響もあり、患者数、診療収益は前年同期より減少しています。診療収益の減少では、特別減収対策企業債の借り入れで補てんしているため、今年度においては現金不足は生じないと見込んでいます。

　今年度の重点取組施策が十分行われていない部分もありますが、現段階においては、今できることを着実に進めていくことが大事であると考えています。

新型コロナウイルス感染症対策　議会からの報告

①特別委員会で活発に議論を交わしています！

新型コロナウイルスの感染拡大により、保健医療、経済、教育など市民生活への影響が多岐にわたり、甚大な被害が懸念されることから、市の新型コロナウイルス感染症対策を調査し、迅速に対応していくため特別委員会を設置。令和２年３月30日の第1回開催を皮切りに、これまで13回の会議を重ねてきました（令和３年１月14日現在）。

今後も新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と市民生活の安定を願い、市と連携して全力で取り組んでいきます。

②市立病院で新たなコロナ対策を始めました！

市立病院では、新型コロナウイルス感染対応として昨年12月からサーマルカメラによる体温測定を開始したほか、新たに院外診察スペースを設置しました。また、院内における発熱者等の対応エリアを区分するなど感染対策を徹底しています。

▲体温測定の様子

簡易診察室▶

③議員報酬を10%減額して市民の皆さんを応援しています！

新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済的に苦境に立たされている地域住民を応援し、感染症対策に係る財源の一部とするため、令和２年７月から令和３年３月までの間、自主的に議員報酬を10%減額しています。合計486万9,000円が、新型コロナウイルス感染症対策の施策に充てられます。

なお、同様に市長、副市長および教育長の給料についてもそれぞれ10%、８%、５%減額しています。
（※令和２年５月、第３回臨時会において議決されました）

市議会だよりが新しく生まれ変わります

「たきかわ市議会だより」は、令和３年５月１日発行号からリニューアルします。
これまで以上に分かりやすく、親しみやすい紙面づくりを目指します。

主な変更点

①カラー印刷を導入
②縦書きから横書きに
③ＱＲコードを活用した市議会ウェブサイトとの連携
④スマホ用アプリ「マチイロ」による配信

本会議の様子や一般質問の詳細はインターネットでご覧いただけます。

議長コラム

コロナ禍で「目配り・気配り・心配りを」

昨年、私たち人類は想定もしていなかった新型コロナウイルス感染拡大という危機に直面しました。生活スタイルは大きく変化することを余儀なくされ、人として生きることの意味を考えさせられました。コロナにり患された方、経済的に大きな影響を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、日々の生活の中で「目配り・気配り・心配り」をもって生活をしなければならない大切さを感じさせられたところです。

市議会では、新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会を中心に市民の安全・安心を守るための対策を議論しておりますが、市民の一人ひとりがモラルを守り、感染予防対策をとって行動していただくことが肝要です。

市民の皆さん、心を一つにしてこの難局を乗り越えましょう。

滝川市議会議長　関藤龍也

議会日誌（令和２年10月１日～令和２年12月31日）

10. 5	第10回新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会を開催した。
10. 5	第11回総務文教常任委員会を開催した。
10. 5	第11回厚生常任委員会を開催した。
10. 7	第25回議会運営委員会を開催した。
10. 7	第13回市議会だより編集会議を開催した。
10. 8	北海道市議会議長会道央支部協議会秋季会議が開催された（書面会議）。
10. 13	第５回市議会臨時会を開催した。
10. 13	第14回市議会だより編集会議を開催した。
10. 19	北海道市議会議長会正副会長会議が開催された（書面会議）。
10. 20	全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会に出席のため、議長が帯広市に出張した。
10. 30	全国広域連携市議会協議会正副会長･監事･相談役会議･第73回理事会が開催された（書面会議）。
11. 2	第15回市議会だより編集会議を開催した。
11. 10～12	全国市議会議長会基地協議会第98回理事会、社会文教委員会出席のため、議長が東京都へ出張した。
11. 11	第16回市議会だより編集会議を開催した。
11. 13	第11回新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会を開催した。
11. 18	第17回市議会だより編集会議を開催した。
11. 24	第12回厚生常任委員会を開催した。
11. 24	第11回経済建設常任委員会を開催した。
11. 25	第12回総務文教常任委員会を開催した。
11. 25	第12回新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会を開催した。
11. 26	第26回議会運営委員会を開催した。
11. 27	第６回市議会臨時会を開催した。
12. 1	第27回議会運営委員会を開催した。
12. 4～11	第４回市議会定例会を開催した。
12. 4	第28回議会運営委員会を開催した。
12. 10	第29回議会運営委員会を開催した。
12. 21	第13回新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会を開催した。

編集後記

成人式は、お盆に延期。いまだ気軽に密にはなれません。この状況下での暮らしを支え、そして、市民の皆さんが安全・安心に暮らせるまちづくりに関わる市議会の姿を分かりやすくお伝えできる紙面づくりを今年も心掛けていきたいと思います。

■たきかわ市議会だより編集委員会

委員長　渡邊龍之
副委員長　寄谷猛男
委員　三上裕久
　　佐々木和代
　　水口典一

発行責任者　滝川市議会議長　関藤龍也

傍聴してみませんか

令和３年第１回滝川市議会定例会の開催予定日をお知らせします。

日程

3月 2日(火)　本会議
3月10日(水)　本会議　代表質問
3月11日(木)　本会議　代表質問等
3月18日(木)　本会議

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ　議会事務局　☎28-8048